

令和7年度 村岡地区市長と語る会 議事要旨

- 日 時 令和7年8月28日（木）午後7時00分～午後8時40分
■場 所 村岡まちづくり会館
■出席者 58名
■意見交換会でのテーマ：1.地域交通について 2.小学校再編について

1. 市政報告会

1) 中部中学校跡地の利用について

質問	閉校後の勝山中部中学校の跡地や建物利用について、どのように考えているか教えていただきたい。
回答	勝山中部中学校は令和9年3月31日に閉校し、新しい中学校の準備が進めている。これに伴い、中部・南部・北部の3校の敷地や建物は学校としては使われなくなる。現時点で具体的な活用方法は決まっていないが、方針としては、まずは土地を市の所有とし活用したいと考えている。人口減少のため、中部中学校をそのまま公共施設として残すことは難しく、住宅地としての利用も検討している。一方で、避難所や社会体育の拠点として、体育館の活用は必要だとも思っている。結論として、3校それぞれ課題は異なり、中部については市街地の住宅需要を踏まえた活用が有力ではあるが、公共施設として全面的に残す予定はない状況。

2) まちづくり会館の図書室スペースをサロンスペースにすることについて

質問	村岡まちづくり会館の1階の図書室をサロンの憩いの場にしたいと考えている。子どもから高齢者まで集える場に改修したい。そのためにはクーラーなど設備面の整備も必要。今後、区長会で要望書をまとめ市へ提出したい。
回答	社会教育施設という位置づけの中で、公民館には図書館が必要というルールは既に満たされているため、本は和室に並べて活用し、図書室をサロンに改修することも相談可能。まちづくり会館の改修は順次進める予定だが、エアコンの設置に関してはタイミングによってお待ちいただくこともある。

3) 消滅可能都市からの脱却について

質問	勝山市は観光面は好調である一方で人口減少で「消滅可能性都市」に挙げられていたと思う。岡山県西栗倉村は土地の95%が森林という価値を武器に、林業を中心とした産業により起業や移住者が増え、昨年消滅可能性都市を脱却したと言う。こういったところを市長や市議会議員が視察し、研究し、市民に向け情報発信をしていただけないか。
----	--

回答

交流人口が増えているから定住人口は減っても良いとは全く考えていない。どのように人口を維持していくのかが大きな課題。これは勝山だけの課題ではなく、全国的な課題であるので、この状況の中で、人口減少をどのように食い止め、活力を維持するかについて、今お話しいただいた事例を参考に、しっかりと研究させていただきたい。

2. 意見交換会

1) 地域交通について

事前質問

現在、村岡町内における路線バスのルートや時間に関して、交通弱者にとっては利便性が低い。今後、公共施設の集約や改修、免許証返納者の増加、シニアカー利用者の増加などが見込まれる中、地域交通の見直しについて伺いたい。特に、村岡町内と主要施設を結ぶバス路線の見直しや、ライドシェアの導入、新たな交通手段について市の方針を教えてほしい。

回答

村岡町内と主要施設を結ぶバス路線の見直しについては、令和9年4月のバスのフルデマンド化の導入に合わせて、村岡町内においてもバス停留場の数を増やす計画をしている。朝はスクールバスの運行にあわせた利用となるが、それ以外はフルデマンドバスを稼働させることにより、日常の活動において利便性の高い交通手段となる予定。

ライドシェアの導入については、今後タクシー運転手が不足したり、バスやタクシーが運行していない時間帯、観光面に関しても、今後導入を検討しているところ。決定したらお知らせさせていただきたい。

新たな交通手段の構築については、県内の事例、主に永平寺の近所タクシーに関しては地元住民がドライバーとなり移動に利用されている。今後、市内でも運転手不足に備えて、住民主体の地域内の交通手段について研究を続けていきたい。ぜひ地域からもご提案いただきたい。

2) 小学校再編について

事前質問

近年、児童数の減少及び地域の人口減少も踏まえ、中学校再編が進められているが、小学校の再編も必要とされる状況が生じているのではないかと。若い世代にとっては教育環境が住む場所を決める重要なポイントとなる。子どもたちの教育環境の質を保ちつつ、持続可能な地域教育のあり方の関心が高い。一方で、再編のあり方は単なる効率化だけではなく、地域コミュニティの維持や活性化に資するものであり市の方針を伺いたい。

また、第6次総合計画にある「勝山市ならではの特色ある教育を推進できる環境」とはどのようなものか、具体的に教えてほしい。

回答

小学校の再編については、それぞれの学区の保護者、地域住民の意思を尊重して対応するという方針があり、その方針は現在も同じである。市内では、野向地区で議論が交わされているところ。

少子化の進行を見据えた学校教育環境の整備については、中学校を1校に統合し勝山高校の敷地内に建設し、ジオアリーナや長山公園グラウンドを教育施設として活用、中高の連携を小学校や、地域、県立大学恐竜学部に広げ、教育環境の充実発展を図っていく。

市ならではの特色ある教育推進に関しては、一つ目として学校の状況に合わせた支援員の配置、二つ目にESDに根差したふるさと教育、環境教育、外国語教育を推進している。三つ目に、令和5年度からこども課を設置し、誕生から18歳まで一元的な子どもの教育を実施している。

3) フルデマンドバスについて

質問

フルデマンドを既に実施されているところで利用状況を教えていただきたい。また、永平寺町が乗り合いタクシーを本格運用すると新聞で見たが、先ほどあった近所タクシーとは違うのか、フルデマンドバスとどう違うのか教えていただきたい。

回答

永平寺町の乗り合いタクシーは近所タクシーとは違い、コミュニティバスと同じ扱いになっている。現在のフルデマンドバスに関しての利用率は、数字は持っていないので詳しい説明はできないが、導入後の利用者は少し増えている。利用者にアンケートを取ったところ、86.3%は今後も利用したいという回答。希望の時間帯に短時間で移動できるところが評価された一方で、電話での予約が不便だという声もあった。これについては今後、スマホアプリでの予約についても導入を検討していきたい。

質問

令和9年から本格的にフルデマンドバスを導入するという話だったが、近くにバス停があることは利便性を高める上で重要なことだと思うので、その点は配慮いただきたい。

回答

バス停の数については、利便性が良くなるように確保させていただきたい。

4) 高齢者や若い世代が一緒に暮らす政策について

質問

小さな区で何かやろうとしたとき、高齢者は参加したくてもなかなか参加できない。かといって若い世代だけでも仕事が忙しく難しいところがある。高齢者も若い世代も子どももいるような世帯を増やす政策をしていただけないか。3世代世帯に対する手厚い政策があるとありがたいと思う。

また、高齢になると夜道を出歩いたり運転したりが怖くなる。こういった会に関してもぜひ自宅でオンラインで参加できるようにしていただけるとありがたい。

回答

3世代同居の推奨に関しては賛否あると思う。政策的には若い方も帰ってこられるような、同居に限らずそういった政策に関してしっかり考えていきたい。多世代同居リフォーム補助というがあるので、市役所へご相談いただきたい。115プロジェクトの中で勝山市のことも政策や暮らしやすいまち、安全なまち、そういったことをPRして頑張っていきたい。オンラインに関しては、リアル開催の方が良いという人もいるので、オンラインと対面のハイブリット式を次回からやってみたいと思う。

5) 気象観測地点の変更について

質問

気象観測所を中央公園の一角に移転できないか。先ほども出たESD教育をする中で、気象の観測所がまちなかにあると見学をする中でも身近にあると非常に良いと思う。所管は気象庁だと思うが、ぜひ検討していただきたい。

回答

福井地方気象台の方と話をする機会があるので、そういった際に今回いただいたご意見はお伝えしたい。

4) 廃屋の活用について

質問

高齢化で廃屋が今後増えていくことが想定される。廃屋が増えると鳥獣被害や治安の悪化につながると聞いた。行政での対応には限界があると思うが、廃屋に特化した政策は検討できないか。例えば、移住者を募集して3年間家賃を取らない代わりに5年以上住んでくださいといったような。全国的な問題で難しいとは思いますが、行政の立場から今後の手立てや見解があれば聞かせてほしい。

回答

市内には空き家が約500件ほどあると言われている。区長を通じて調査もしているが、その空き家をランク付けして対応している。その中で活用が見込める空き家に関してはピックアップして紹介したりしている。ここ数年、インバウンド対応の一つとして空き家を活用して簡易宿泊をする方が増えている。そういった活用にも支援していきたいし、空き家をリフォームして家を建て、子育てしたいといった後押しも考えていきたい。